



未来に夢ある変革を

県会議員 石川しんいち ・ 市会議員 いしざきゆきお 活動報告



東日本大震災では、船橋市内海浜部で液状化による被害（写真上）、北部では屋根瓦損壊がありました。（写真下）



6月議会は東日本大震災の復旧・復興へ向けての一般会計補正予算が16億1千万円計上されたほか、被災者住宅補修等助成事業要綱が提起

され、個人住宅及びマンション被害に対しても一部助成をしていくことが決まりました。液状化被害の救済及び補修に対して、事業費の二分の一、

上限金額50万円などが骨子であります。詳細は今後の「広報ふなばし」でご確認ください。また、福島原発事故を受け、市内の放射線量の実態

『支え合う社会』実現へ取り組む いしざきゆきおの「6月議会報告」

発行
・ 県会議員 石川信一 電話 (410) 0130
・ 市会議員 石崎幸雄 電話 (469) 7966



についての質疑も相次ぎました。

私は、市は放射線量の実態把握のため市内各地で測定していますが、放射線量の情報提供の遅れが住民不安をもたらしていること、また線量計の信頼度、測る人によって数値が

違うことがあることも指摘しました。市民の混乱を防ぐ観点から線量計の精度基準や認定方法の明確化をし、放射線について正しい知識を伝える

ための広報活動も強く要望しました。

法人の経営状況報告書に対する質疑では、震災で壊滅的被害を受けた「ふなばし三番瀬海浜公園」の指定管理者である財団法人船橋市公園協会に毎年26万人

のお客様がある潮干狩り及び流水プールの事業について質問しました。協会も市も国の助成金待ちの姿勢であり、大変遺憾に思いました。残念。

プールサイドが壊れた海浜公園

